



RIKEN
BRC

The 110th RIKEN BRC SEMINAR

日時:2013年2月28日(木) 16:00~17:00

場所:バイオリソースセンター1F 森脇和郎ホール

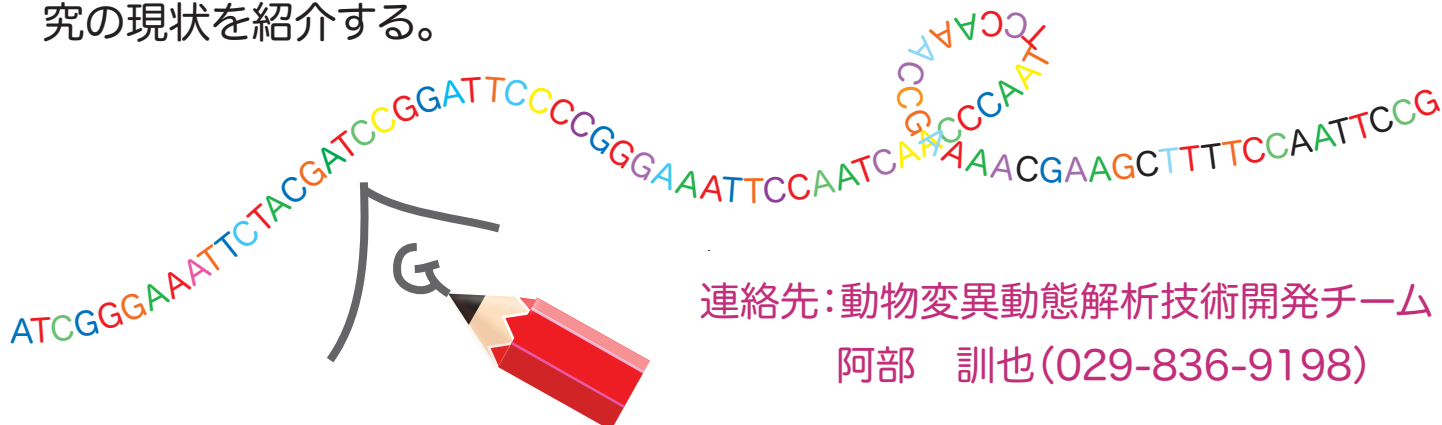
ゲノム編集技術を用いた 様々な生物や培養細胞での標的遺伝子の改変

山本 卓 先生

広島大学大学院 理学研究科 教授

近年、様々な生物種において目的の遺伝子を改変する技術として、人工ヌクレアーゼを利用した“ゲノム編集”が注目されている。ゲノム編集は、標的遺伝子の破壊(ノックアウト)や外来遺伝子の付加(ノックイン)が可能であることから、次世代の遺伝子改変技術として注目されている。これまで使われていた人工ヌクレアーゼZFNに加えて、標的配列選択の自由度が高く作製の簡便なTALENが開発され、様々な生物と培養細胞(ES細胞やiPS細胞を含む)でのゲノム編集が競って進められている。

本セミナーでは、これまで我々が行ってきたゲノム編集研究について紹介すると共に、ZFNとTALENを用いた様々な生物や培養細胞でのゲノム編集研究の現状を紹介する。



連絡先:動物変異動態解析技術開発チーム
阿部 訓也(029-836-9198)